

数値目標、KPI一覧
(実績値が基準値以下であるもの)

28年度
第1回 資料 2

政策軸1「ひとつづくり」

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
近隣や地域と交流やつながりがあると感じている市民の割合	48.9%	64%	47.7%	価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、町会・自治会への加入率が低下傾向にある。	町会・自治会への加入促進を進める取組とともに、地域の情報発信ができるウェブサイト「はちコミねっと」の開設。
安心して子育てができていると感じている市民の割合	39.6%	48%	33.9%	平成27年度の新たな取組として、子育てひろばでの支援や情報提供のさらなる充実を図っていくため、貸し出し用育児書の充実を行った。 また、子育ての喜びが感じられるよう、情報提供の充実を図り、安心して子育てができる環境を整えた。 しかし、子ども・子育てに関する情報が広く市民に行き届いていない状況であった。	引き続き、保育環境の整備・拡充による待機児童待対策や妊娠期からの切れ目ない支援体制の充実など、従来から取り組んでいる子ども・子育て施策を推進していくほか、SNSを活用するなど、子育て情報を発信する媒体にも創意工夫を凝らし、保護者に伝わる発信を行っていく。

重要業績評価(KPI)

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
町会・自治会加入率	60.8%	67.6%	60.1%	価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、町会・自治会への加入率が低下傾向にある。	加入促進については、引き続き町会自治会連合会と連携を取りながら取り組んでいく。
赤ちゃんふれあい事業を実施する中学校数	—	38校	—	目標値である平成31年度に全中学校での事業実施実現に向けた準備として、中学校への事業説明、アンケートを行った。 (事業自体は平成28年度から開始するもの)	平成28年度10回実施予定。8月末時点で1回実施済
ファミリー・サポート・センター年間活動件数	6,469件	8,206件	5,545件	説明会を実施したが、想定より会員登録数が増加しなかった。	開所時間の延長及び土曜日開所し、受付時間拡大し、民生委員等に周知を図る。
保育所等待機児童数	144人	0人	139人	新たに245名分の保育定員を確保したが、申込児童数の増により、待機児童数は基準値より5人減の139人となった。	民間保育所及び事業所内保育所の施設整備等を行い、引き続き定員増を図る。
発達障害児支援事業グループ活動の利用者数	838人	1,130人	815人	就学児の療育体制を精査した結果、利用者は前年より微減したが、事業効果は上がってきている。	新たに読み書きを指導する療育グループを開設し、利用者は増えている。
母子・父子自立支援プログラム策定件数	53件	60件	53件	平成27年度の新たな取組として母子家庭等就業・自立支援センター事業で就業支援事業を開始したが、周知不足もあり件数は伸びなかった。	母子家庭等就業・自立支援センター事業のパソコン講習会等の受講者をプログラム策定に繋げる取組を行う。

数値目標、KPI一覧 (実績値が基準値以下であるもの)

政策軸2「しごとづくり」

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
市内の産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	23.7%	35.2%	22.9%	市政世論調査において、“思わない”との回答が高齢者に多く見られる。	本市の産業活動について、高齢者にもわかりやすい情報発信を行っていく。

重要業績評価(KPI)

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
農業産出額	26億円	28億6880万円	25億7000万円	農家の高齢化や担い手不足が原因で農業産出額が減少傾向にある。	農地バンク制度等により、生産基盤である農地の流動化を積極的に進め、農業産出額の向上に努める。
道の駅八王子滝山の年間売上高	9.3億円	10億円	9.2億円	概ね達成したが、来場者数の減少もあり若干目標値に届かなかった。	来場者数を増やすためにイベントを増加したり新聞折り込みの部数を増やした。
新設事業所数の伸び率	市0.77 都0.84	都全体の伸び率を0.07上回る	市2.96 都3.49	サイバーシルクロード八王子の事業である創業塾の塾生の傾向を見ると、近年、飲食サービス系での創業を目指す指向が強い。そのため、飲食サービス系での新事業所数の伸びの影響が大きいと想定される。近年のニーズを踏まえ、サイバーで飲食系に特化する創業スクールの実施に取り組んでいるものの都の伸び率には届いていない。	サイバーシルクロード八王子の事業を補助し、異業種間連携の取り組みを実施。また、新たな起業家の創出に向けて専門家による起業家への伴走支援を実施する。
市のかかわる就職支援活動による採用者数	752人	952人	522人	福祉部の数字の捉え方が27年度から変わったため大幅に減少した。同じ捉え方をすると26年度(基準値)は353人。	引き続き関係機関と連携して求職者の採用支援を行う。

数値目標、KPI一覧 (実績値が基準値以下であるもの)

政策軸3「まちづくり」

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
住み続けたいと思う市民の割合	88.6%	91%	88.5%	計画的なまちづくりにより暮らしやすい地域づくりを行うため、27年度には「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」、「八王子市土地利用制度の活用方針」、「中心市街地まちづくり方針(市街地総合再生基本計画)」、「用途地域等の指定方針・指定基準」の策定・改定を行い、まちづくりの方向を示した。また、各計画等の策定にあたってはパブリックコメント手続きや素案説明会を実施するとともに、これらの実施にあたっては広報・HPのほか、SNS(Facebook・twitter)での周知にも努めた。しかしながら、これらは土地利用等に関する方針・計画であり、本方針・計画を活用した官民双方の都市活動が展開され、市民が成果として実感するまでには時間がかかるため今回の調査結果になったと考えられる。今後も計画に基づき継続的に施策を展開していくことが必要である。	平成28年度には「低炭素都市づくり計画」、「自転車利用環境整備計画」を策定するほか、策定済みの各計画等に基づき、まちづくり事業を実施していく。 また、都市計画部の専用Facebookを立上げ、説明会等のまちづくりに関連する情報の発信ツールを多様化した。

重要業績評価(KPI)

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
市内の空き家率	10.3%	基準値(10.3%)以下	—	実績値は直近のデータとしてH25住宅土地統計調査により算出しているため、次回H30住宅土地統計調査まで変動はない。	空き家の利活用の促進のため、空き家所有者に対し、改修費の一部を補助する空き家利活用促進整備補助事業を実施。
「あきんど講座」実施回数	4回	6回	4回	平成27年度は各種団体からの申し込みが少なく、周知不足であった。	各種団体は定休日がまちまちのため、実施にいたっていない。個店の1件のみとなっている。
こども科学館の利用者数	85,181人	100,000人	82,180人	館内設備修繕のため1ヵ月半休館したため入館者が減となった。	平成28年10月から展示物改修、施設の大規模改修の休館に入り、平成29年7月リニューアルオープンの予定。

数値目標、KPI一覧 (実績値が基準値以下であるもの)

政策軸4「本市の魅力の発信」

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
観光客数	714万人	824万人	712万人 (H26実績)	基準値は、平成25年度実績値に基づく平成26年度観光客数の推計値(データ集計・計算の都合上、目標設定時点で実績値を得ることが出来なかった)。今回確定した平成26年度実績値では、平成25年度実績値である707万人から5万人増加している。市外での観光PRや市内観光案内所での情報発信によるものと考えられる。また、平成27年度も増加傾向を維持するため、滝山地域において観光資源の創生に取り組むなど、観光施策の充実を図った。	市内の魅力発信や集客力の高いイベント(体験学習フェスティバル・フォトログ等)などの開催を予定しており、観光施策の充実を図っている。
八王子市の良さを他人に伝えるなどの行動を起こしたことのある市民(20～30代)の割合	20代: 61.9% 30代: 65.2%	20代: 70% 30代: 74%	20代: 53.1% 30代: 63.9%	同指標については、20～30代に限らずほとんどの年齢・性別で低下がみられるが、この指標についてはH27年度以前のデータがないため、経年で傾向を判断することが難しい。この状況を踏まえ、市民ヒアリングを通じた具体的な本市のイメージ把握・分析や、更なる本市のPRに努めていく必要がある。	28年度は、以下の事業を実施し、本市のイメージアップや交流・定住促進を図る。 ・シティプロモーション特設サイトの開設 ・プロモーション動画の制作(3本) ・市民ライターフェイスブックの運営

重要業績評価(KPI)

数値目標	基準値	目標値(H31)	実績値	実績値に対する分析・評価	28年度の取組状況
八王子産の農産物を常に意識して購入している市民の割合	16.7%	46%	15.7%	実績値が基準値を下回っている現状を踏まえ、更なる八王子産農産物のPR活動に努めていく必要がある。	八王子産農産物の普及を図るため、道の駅八王子滝山の出張販売を行う。 (平成28年度16回予定。8月末時点で6回実施済)
MICE 誘致成功件数(推進組織がプロデュースしたもの)	—	7件	—	実績なし(H29.4月から新組織立ち上げのため)	実績なし(29年度以降の誘致に向けた商品開発、ネットワーク構築、ガイド制作等)